

令和4年度 第2回学校評価アンケート集計結果

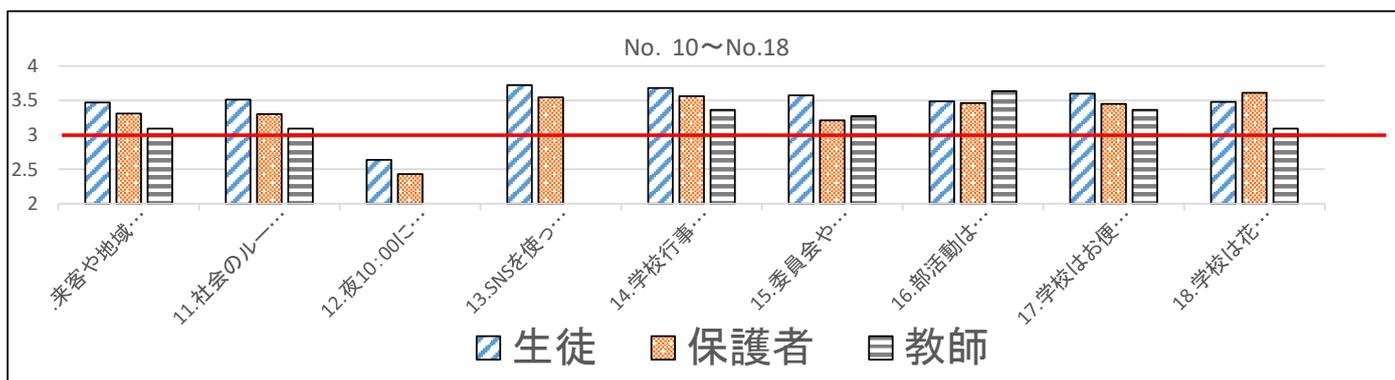
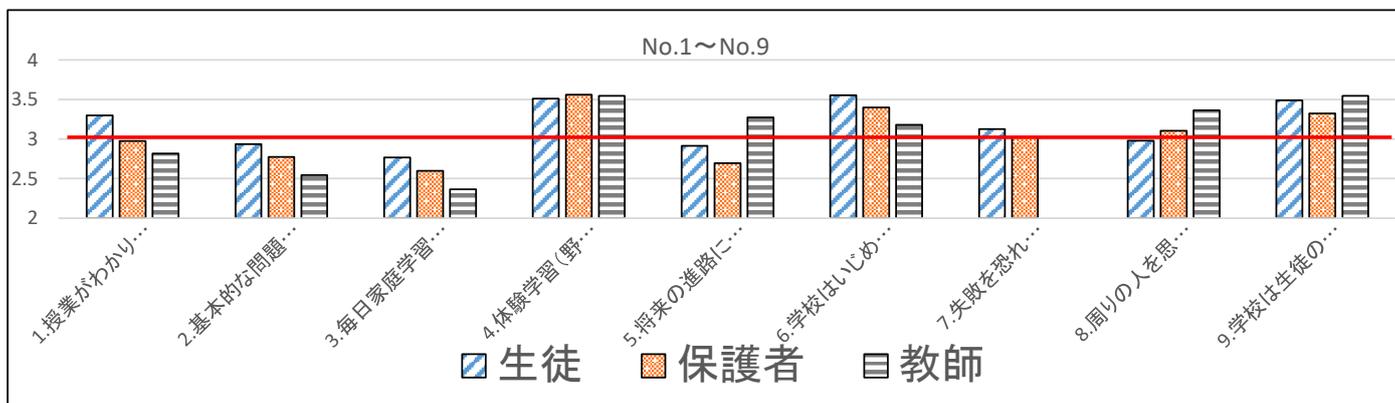
(令和4年12月実施 令和5年2月発行)

◆数値は各項目について4段階評価した平均点。

(4:よくあてはまる 3:ほぼあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:全くあてはまらない ? :よくわからない)

◆平均点が「3」を超えていたら、概ね満足と評価できる。

No.	評価項目	生徒	保護者	教師	平均
学習面	1 授業がわかりやすい。	3.30	2.98	2.82	3.03
	2 基本的な問題を解く力(学力)が身についている。	2.94	2.78	2.55	2.75
	3 毎日家庭学習に取り組んでいる。	2.77	2.60	2.36	2.58
	4 体験学習(野付学)を通して、故郷を大切にしている気持ちがある。	3.51	3.56	3.55	3.54
	5 将来の進路について考えている。	2.91	2.69	3.27	2.96
生活面	6 学校はいじめもなく、楽しく生活できる。	3.55	3.40	3.18	3.38
	7 失敗を恐れず、挑戦しようとしている。	3.13	3.03	/	3.08
	8 周りの人を思いやる行動をとっている。	2.98	3.11	3.36	3.15
	9 学校は生徒の悩み事に適切に対応している。	3.49	3.32	3.55	3.45
	10 来客や地域の人にきちんと挨拶ができる。	3.47	3.31	3.09	3.29
	11 社会のルールや学校のルールを守って生活している。	3.51	3.30	3.09	3.30
	12 夜10:00にはスマホを親に返すか、居間に置くようにしている。	2.64	2.43	/	2.53
その他	13 SNSを使って人を馬鹿にしたり、傷つけるようなことはしていない。	3.72	3.55	/	3.63
	14 学校行事は楽しく、充実した活動になっている。	3.68	3.56	3.36	3.54
	15 委員会や生徒会活動に積極的に参加している。	3.57	3.21	3.27	3.35
	16 部活動は充実した活動になっている。(部活加入者回答)	3.49	3.46	3.64	3.53
	17 学校はお便りやブログなどで、学校や生徒の様子を紹介している。	3.60	3.45	3.36	3.47
	18 学校は花壇整備や清掃活動等の校内外の環境整備に気をつけている。	3.48	3.61	3.09	3.39
	19 自分にはよいところがある。	3.03	/	/	3.03



【保護者アンケート記述内容】

- ・毎日の学校生活はとても充実しているようです。クラスの友達との信頼関係が深まってきたと感じます。担任の先生が自分のことをわかってくれている安心感があり、自己発揮につながっていると思います。生活や部活動で先輩方から多くのことを学び、優しく接してもらい嬉しいようです。毎日、安心して送り出しています。
- ・担任の先生には、学習面、それに加えて子どもたちの心も育ててくれているなあと、感じています。参観日に教室を見て更にそう思いました。いつもありがとうございます。お便りでも担任の先生の人柄と恋を感じ、夫婦で大変楽しく拝見しています。細かなところまで見てくださっているの、お休みする時間はあるのかな？と思うほどです。感謝しかありません。
- ・コロナ禍の今、野付中学校音楽祭の様に学校単位で出来る企画があったら、今後も色々行って欲しいです。生徒達が自分たちで今のままで良いのか、考えながら新しい時代を切り開いていく力がつくように学校と地域で協力しながら応援していきたいです。
- ・いつもありがとうございます。担任の先生をはじめ、先生方にはいつも子どもたちの事をあたたかく見守っていただき、本当にありがとうございます。私達家族も子どもたちをサポートしていきたいと思います。これからもよろしくお願ひします。

【三者比較からの考察と改善策】

「4 ふるさと学習」、「13 SNS指導」、「14 学校行事」、「16 部活動」については、三者ともに高評価(3.50以上)となっていますが、9月実施第1回目が高評価であった「9 悩みごとの対応」、「17 情報発信」、「18 環境整備」の数値が若干低下しました。今後も、学校と家庭が連携し、子どもたちが安心安全に、充実した学校生活を送れるよう、組織的な指導を継続していきます。

「2 基礎学力」、「3 家庭学習」は、第1回目よりも更に数値が下がり、早急に解決すべき課題となっています。引き続き、授業工夫改善を推進し、生徒が主体的に、目的をもって課題に取り組み、子どもが家庭でも自発的に学習に向かうような指導を展開していきます。

「12 スイッチオフ22」については、3.0を大きく下回りました。本校では、スイッチオフ22の達成率を70%以上と目標値を掲げ、その結果を毎月伝えていますが、なかなか改善できていない状況です。今後も家庭と学校の協同した指導が必要不可欠です。

また、「5 進路指導」の数値が3.0を若干下回る結果となりました。より充実したキャリア教育と進路指導を推進し、地域・家庭に情報を発信するとともに、子どもたちの職業観と人生観を深める教育活動を展開していきます。

一方、「6 いじめ対応」、「19 自己肯定感」については、前回に比べ数値が向上しました。引き続き、生徒の様子について全職員で共通理解を図り、いじめの未然防止に努めるとともに、成功体験や達成感を得られるような機会を設け、地域・社会に必要とされる人材の育成をねらいとした学校づくりを邁進していきます。

《具体的改善策》

【学習面】

①基本的な問題を解く力を身につけるためのサポート

- ・各種学力調査の結果を活かした授業改善(苦手分野の把握と対策)を推進する。
- ・小テストの再テストや課題提出など、個に応じた学習指導とサポートを継続する。
- ・ICT(一人一台のタブレット)を活用した個に応じた指導の充実及び、自学で活用できるような環境整備を図る。
- ・「基本的な問題を解く力が身につけている」かどうかについて、生徒・保護者と情報を共有し、共通認識をもつ。
- ⇒各教科で授業評価の結果や基本的な問題など具体的に提示する。
- ・自己評価の低い生徒を対象に学習に対する自己肯定感を向上させる取組を実践し、お便りやブログを通じて保護者への情報発信を積極的に行う。

②自主的な継続的な家庭学習の定着にむけて

- ・授業の「まとめと振り返り」の時間を通じて、家庭学習でやりたいこと、やるべきこと、やり方を自分で考え、計画的に取り組めるような指導を継続的に行う。
- ・自学ノート紹介コーナーの取組を継続し、努力を認め合い、他者の取り組み方から学び合うことで家庭学習の質の向上に役立てる。また、生徒への紹介の仕方や掲示方法の工夫をする。
- ・家庭でも学びたくなるような課題の工夫と自発的な家庭学習を促す指導を授業の中で展開する。
- ・生徒の家庭学習への取り組みについて、保護者にブログ・学校だよりなどでPRする。
- ・タブレット端末を活用した課題の工夫、コンテンツなどを積極的に紹介する。

【生活面】

①スイッチオフ22の取組やSNS利用指導などの「メディア」に関する取組

- ・生徒指導部からの啓発を継続する。スクールライフを通じて、生徒の実態を紹介するとともに、翌月の目標を設定し、呼びかけをしていく。
- ・定期的な声かけや面談などを活用して生徒自身にスマホの利用の仕方を考えさせたり、促したりするような指導を続ける。
- ・防犯安全教室やスマホ安全教室等で講師を招き、SNSの利用に伴う危険性やスマホは学習に与える影響など、客観的データを示しながら啓蒙していく。

②自己肯定感の向上

- ・引き続き、学級活動を中心に、各行事や生徒会活動、部活動等で、生徒各々に合った目標を設定させながら、成功体験を重ねさせ、自己肯定感を高めていく。
- ・共感的な人間関係づくりに努め、集団の中での「大切なひとり」であることを伝えていく。